

宮古西中学校の林業体験学習会を実施しました

1 はじめに

宮古林務室では、去る7月5日に宮古西中学校の生徒11名を対象として林業体験学習会を実施しました。

体験学習の内容は、間伐した木を利用できる形(丸太)にすることを実感できるようなプログラムとしました。

2 プログラムの検討

宮古西中学校では、1年次に農林水産業のいずれか希望する産業体験学習を選択させています。

こちらが提案したプログラムを見て、はたして林業に何人来てくれるのか、という点でなかなか緊張感のある企画です。

森林・林業学習を担当する室屋技師(宮崎県からの応援職員)を中心に、林業普及指導員が協力してプログラムを検討し、間伐によって森林が健全に育つことを理解してもらった後に、伐倒の実演見学、枝払いと丸太切りの体験をしてもらうという組み立てにしました。

3 学習会の状況

当日、まだ小学生のあどけなさが残る11名の中学1年生は、真剣な表情で森林のお話に聞き入り、いわて森の達人である寶由夫氏が見せてくれたオオスズメバチの標本にぎょっとしながらも元気に山道を歩いて体験学習会場へ向かいました。

小澤上席林業普及指導員が、DBH10cmの被圧木にきちんと受け口を作って伐倒する

のを見学した後、ノコギリで伐倒木の枝払いを行ったり、予め準備していた丸太を切ったりしました。(自分で切った木は、コースター等にできるよう紙やすり付きでお土産に。)

最後に枝払いした伐倒木を小澤上席林業普及指導員が玉切りして、あらためてチェーンソーの威力を実感してもらい、出来上がった丸太を持って記念撮影しました。



[丸太ができた!]

※ 林業技術センターからお借りした最新林業ウェアで講義

4 おわりに

現地での体験学習にあたっては、安全への配慮が欠かせません。

今回はすべて当林務室で準備をしましたが、中学校からの依頼対応という点を踏まえて、事前に中学校側と安全対策の分担や責任の範囲を打ち合わせておくことが必要であったと思います。

いざという時の備えを確実にした上で、子供達に楽しい体験学習を提供し、林業への興味を森(もり)アゲていきたいと思っています。